

- ④ [クリッピングマスク]が適用されて、外枠からはみ出した部分にマスクがかかりました。



- ⑤ [クリッピングマスク]に変換したオブジェクトはカラーなどの設定が破棄されてしまいます。[ダイレクト選択ツール]で外枠の長方形を選択し、線の色を黒にしましょう。

### 3. 文字のアウトライン化

すべての文字をアウトライン化しましょう。

[選択ツール]ですべてのオブジェクトを選択し、[書式]-[アウトラインを作成]を選びます。

すべての文字がアウトライン化されたか確認してみましょう。[書式]-[フォント検索]を表示します。[ドキュメントのフォント]にフォントの名前が表示されていなければアウトライン化は完了です。



#### クリッピングマスクの注意

[クリッピングマスク]ではみ出した部分を非表示にすることを「マスクをかける」「マスクする」と言います。

[クリッピングマスク]は、選択された中で最前面にあるオブジェクトで作られます。うまくマスクできない場合は、外枠の長方形が全てのオブジェクトの中で最前面にあるか確認してみましょう。

また、複数のレイヤーに分けられていたオブジェクトは[クリッピングマスク]のあるレイヤーにグループ化されます。

オブジェクトを個別に移動・変形したい場合は、[ダイレクト選択ツール]で選択します。

切り抜かれるオブジェクトは複数でも問題ありません。一番上のオブジェクトと、それ以下の全部のオブジェクトでわけられます。

#### アウトライン化について

地図を見るパソコンの環境によって、使用しているフォントが表示できない場合があります。そこで、文字を画像化する作業・アウトライン化します。

Illustratorのようなベクトルデータをビットマップ画像に変換する工程を「ラスタライズ」と呼びます。この「ラスタライズ」の際に、フォントも自動的に画像化されるため、実際には、必ずしもアウトライン化する必要はありません。

ただし、制作しているコンピューター的环境などによって、フォントのままでは文字のラスタライズがうまくいかない場合があります。最近のPCではそういったエラーは少なくなりましたが、フォントはアウトライン化してからラスタライズするのが確実です。

## 4.Web 用画像として保存する

ベクトルデータの Illustrator のデータを Web で利用する際には、HTML でも扱える JPEG や GIF などの保存形式に変換します。

変換方法はいくつかありますが、今回は**[Web用に保存]**を使います。

### ▶アートボードに変換

地図は 800×600 ピクセルのアートボードで作成しています。この状態で **[Web 用に保存]** を行うと、地図のまわりの余白も画像として保存されます。

そこで、必要な範囲のみを保存します。

① **[ダイレクト選択ツール]** で地図の外枠の線を選択し、**[コピー]** してから、**[編集]** - **[前面へペースト]** で地図の前面にペーストします。

② ペーストした枠線を選択したまま、**[オブジェクト]** - **[アートボードに変換]** を実行します。



### ▶Web 用に保存

① **[ファイル]** - **[Web用に保存]** を選び、表示された画面の右側にある **[プリセット]** で保存形式を設定します。JPEG または GIF を選択して **「保存」** します。



② Web サイトでも使用できるビットマップ画像に変換できました。ファイルを Photoshop などで開き、地図が問題なく画像化されているか確認しましょう。  
「**ギンザ・グラッセ地図OL**」も保存しましょう。

### グループ選択ツール

複合パスやグループ化された図形の一部を選択できます。**[ダイレクト選択ツール]** でも部分選択はできますが、クリックするだけでクリックした部分を含む図形が選択できるのでグループ化されたオブジェクトを操作する場合に便利です。

ここでは **[ダイレクト選択ツール]** か **[グループ選択ツール]** のいずれかを利用します。

オブジェクトに対するクリックの回数で、グループの階層別にオブジェクトが選択されます。

1 回クリックするとグループ内の一番小さな単位が選択され、以降クリック回数を増やすと次の単位のグループごとを選択されます。

最終的には、オブジェクト全てが選択されます。

### アートボードに変換する際の注意

**[クリッピングマスク]** は **[アートボードに変換]** を適用できません。そこで、Web 用に書き出すサイズと同じ大きさのオブジェクトを作成し、**[アートボードに変換]** して、必要な範囲のみを画像として保存します。

ここでは、外枠と同じ大きさのオブジェクトをコピー・ペーストします。

### 保存形式について

一般的に Web サイトに使われる画像は JPEG 形式で保存します。ただし、JPEG 形式は階調のある写真等に適していますが、輪郭のはっきりした図版を保存すると形が少しぼやけたり、ノイズが入ってしまうことがあります。

そのため、地図やロゴマークのように、形や色のコントラストがはっきりしている画像の場合、GIF または PNG 形式の方が適している場合があります。

画像の絵柄や実際の用途に応じて保存形式を使い分けましょう。